

平成26年度 租税教育実践事例（第6学年）

登米市立登米小学校
教諭 伊藤 敬

1. 本時の指導

- (1) 題材名 「税金の働きを調べる」
- (2) ねらい
 - ・税金の仕組みを理解するとともに、税金とわたしのくらしや政治とのつながりについて理解する。
- (3) 準備物
 - ・租税教育資料、教科書、資料集、パソコン、指導用DVD、大型テレビ、1億円レプリカ
- (4) 授業の様子



①知っている税金の種類について



②税金についての意識調査



③DVDによる税金の必要性



④1億円の重さを体験

2. 授業後の児童の感想

- | |
|---|
| ○ 今回の学習を通して、税金で私たちの生活が支えられているということが分かりました。これからは、今まで以上に税金が増えていくかも知れませんが、私はこれからの日本の役に立てるように、大人になったらきちんと税金を納めていきたいと思います。 |
| ○ どうして増税するんだろうと思っていました。けれど、この学習を通して税金が国や県や市民のためになるのであれば少くくくらい増えてもいいと思えるようになりました。 |



